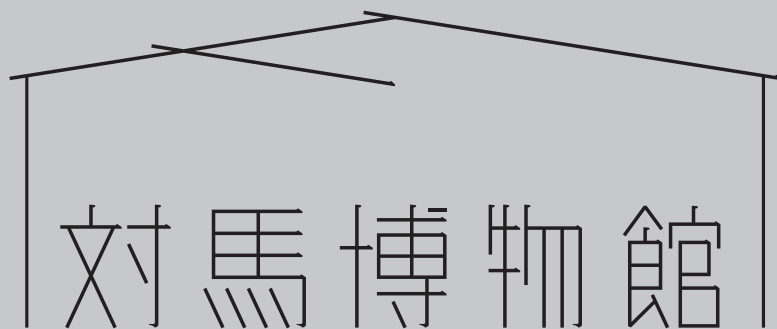


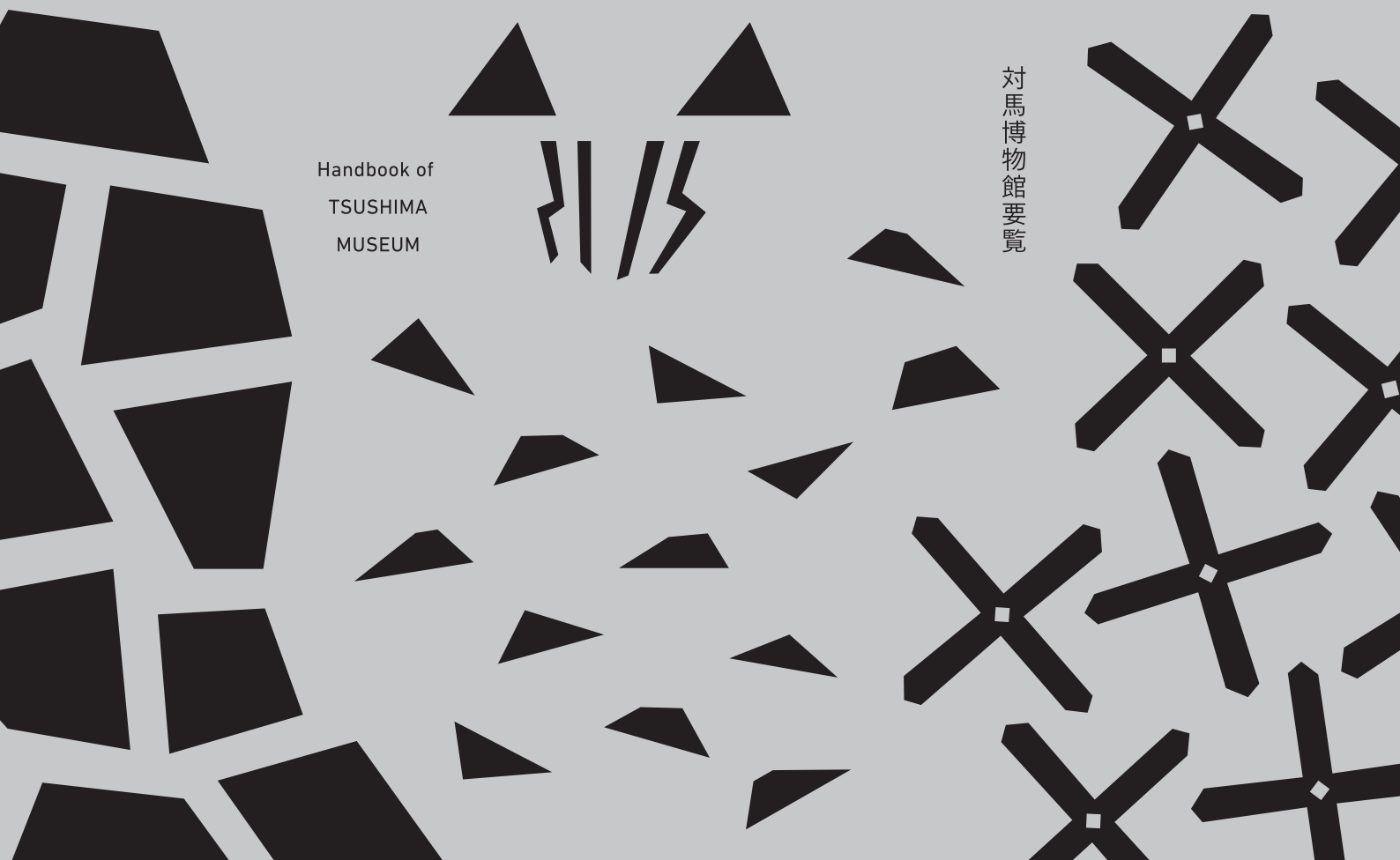


対馬博物館

TSUSHIMA MUSEUM

Handbook of
TSUSHIMA
MUSEUM

対馬博物館要覧





対馬博物館は自然、歴史、文化、芸術を扱う総合博物館です。

特色ある資料を通して、古代から現代まで、朝鮮半島など大陸の国々や日本本土と活発な交流をしている対馬のあゆみを紹介します。

また、対馬に伝わる文化財を大切に守り、対馬を知り、学ぶことのできる場として、対馬を愛する心を育み、対馬の魅力を国内外に発信していきます。

Index

概念・使命	02
博物館設置目的・事業	03
沿革	04
施設概要	05
フロアマップ	15
利用案内	17
アクセス	18

Concept

概 念

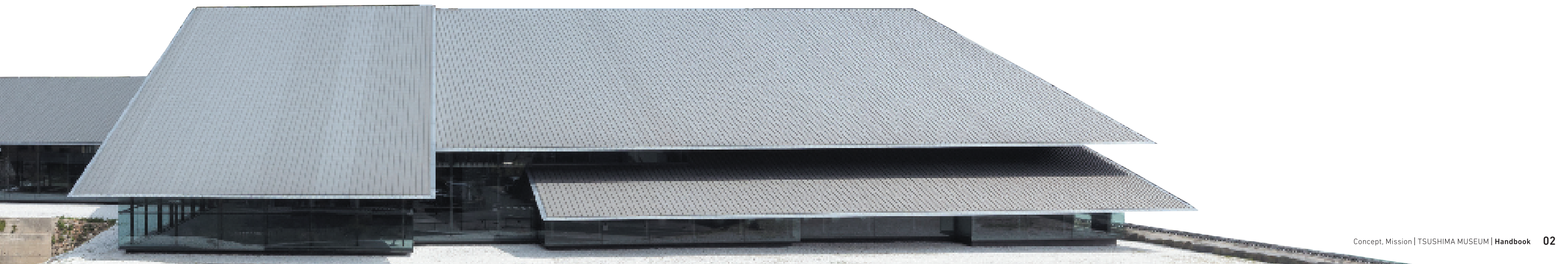
対馬を伝え、
交わりを生み、
つないでいく。

Mission

使 命

- 1 | 対馬に関する資料を集め、守り、伝える
- 2 | 資料を調べ、対馬について掘り下げる
- 3 | 集まり、交わり、つながる場を整える
- 4 | 気づきを生み、動くきっかけを作る
- 5 | 対馬のまちと人に貢献する

モノ・ヒト・コトの
つながるところ



Purpose of Establishment

博物館設置目的

対馬の歴史、芸術、民俗、自然に関する文化的資源を収集し、保管し、調査研究の成果を集積し、及び展示して活用を図り、魅力を発信し、学習や交流、観光の拠点となることを目指し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的に、次のとおり博物館を設置する。

館別	名称	位置
本館	対馬博物館	対馬市厳原町今屋敷668番地2
分館	対馬朝鮮通信使歴史館	対馬市厳原町国分1430番地

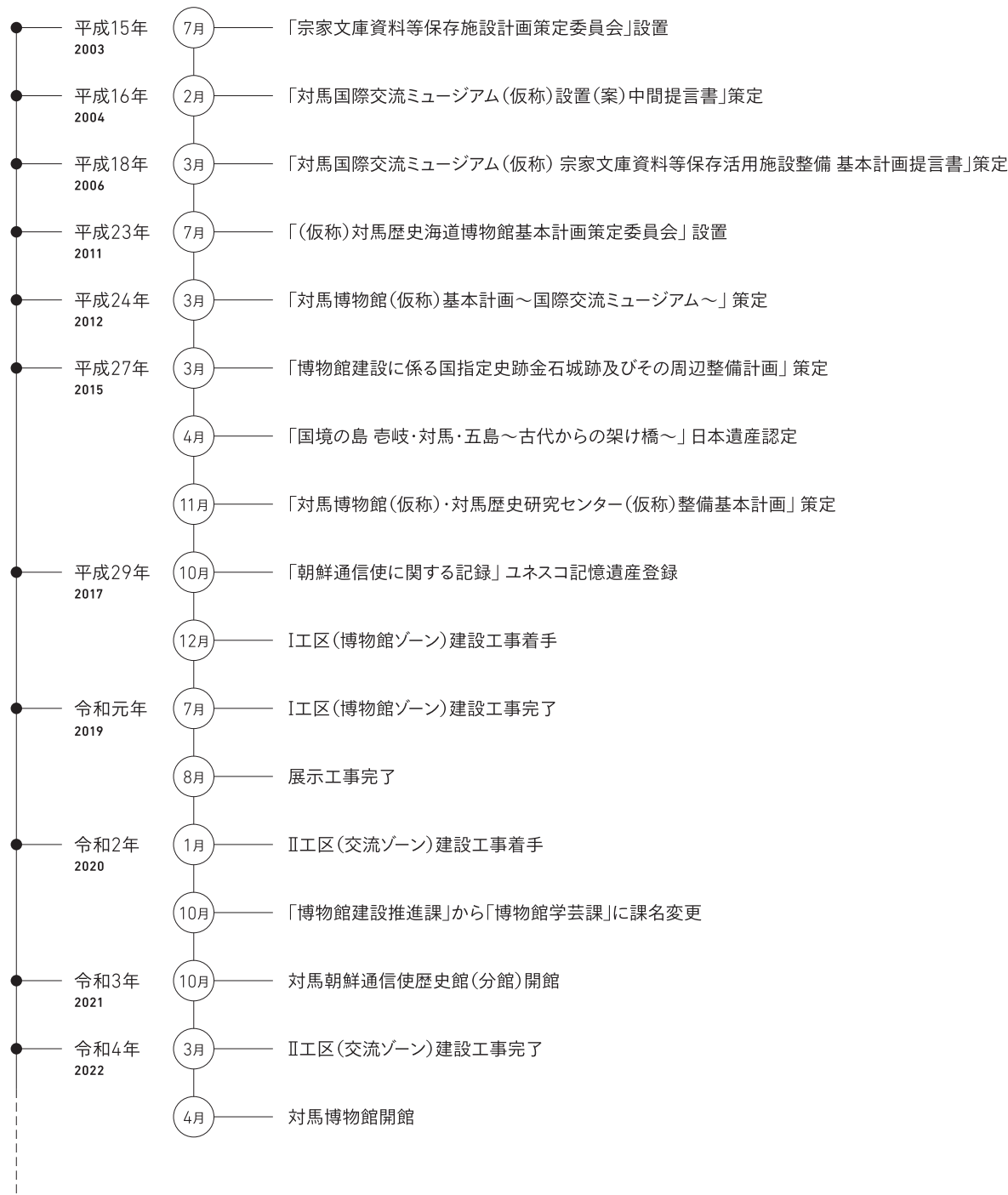
博物館事業

- (1) 歴史、芸術、民俗及び自然科学等に関する資料(以下「博物館資料」という。)の収集、整理、保管、保存、展示及び活用
- (2) 博物館資料に関する調査及び研究
- (3) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等の開催
- (4) 博物館資料に関する説明、助言、指導等
- (5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

『対馬市立博物館条例』(令和2年対馬市条例第43号)より

History

沿革

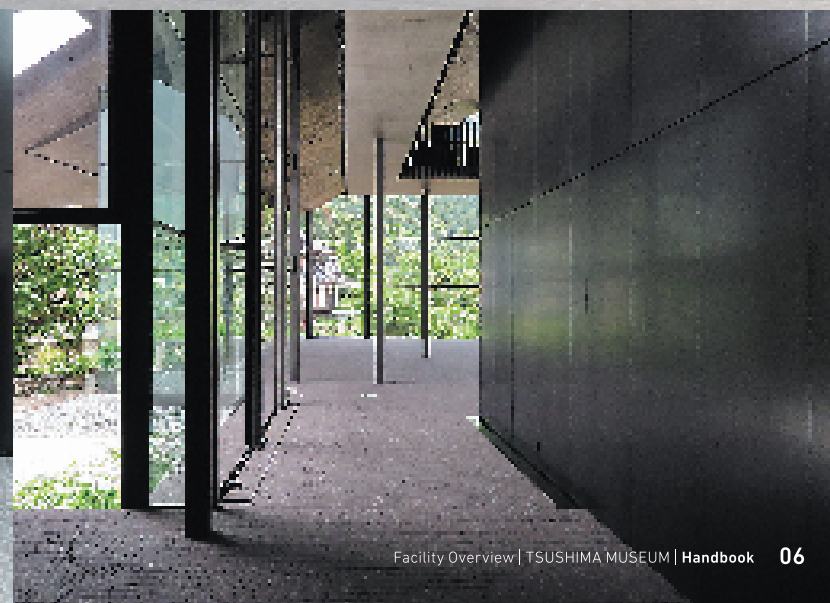


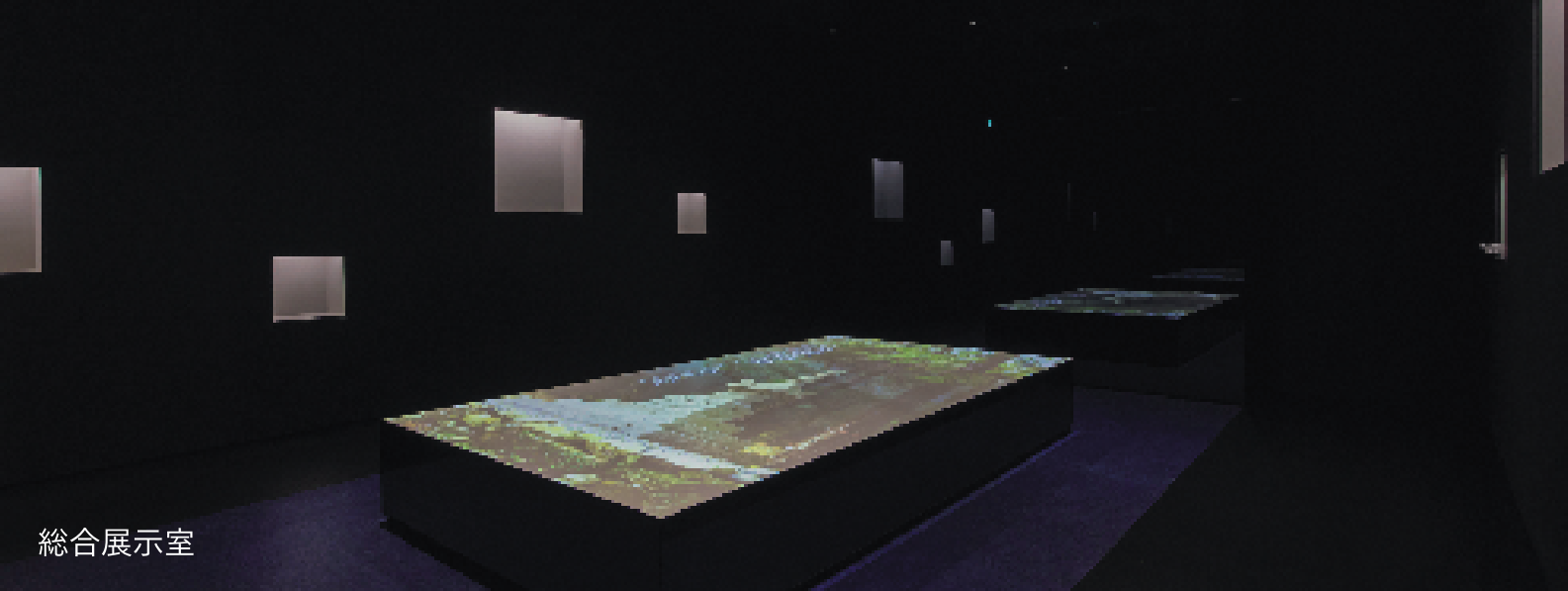
Facility Overview

施設概要

エントランス ホール

床から天井までがガラス張りで
天井高16mを有するエントランスホールは、
金石城跡に建つ櫓門や、
博物館を取り囲む風景を臨むことができる
開放的な空間となっています。





総合展示室



古代展示室



中世展示室

平常展示室

平常展示は総合、古代、中世、近世の4つの室と、近現代の1つの場で構成されています。資料の展示では、経済の視座で対馬を分析し、海を基盤とした活動の様相を提示します。そして、対馬におけるモノ・ヒト・コトの往来について明らかにしていきます。

展示ポリシー

朝鮮半島や日本各地をはじめとする東アジア、東南アジア諸地域と対馬を舞台とした交流を学べる展示

古代から近現代までの移り変わりが分かる展示

文化財の価値を学んで後世に伝えるきっかけとなる展示



近世展示室



近現代展示場



特別展示室1

特別展示室は2部屋に分かれており、目的や用途に合わせてそれぞれ単独でも、連結しても使用可能です。
特別展示室1は自由に独立ケースを配置できるよう、壁にも床にも固定されたケースや設備はありません。
特別展示室2は、大型資料の展示を可能とする高さ4メートルのウォールケースが2面配置されています。

特別展示室



特別展示室2

体験学習室



講座室

博物館主催の講座などをはじめ、自然史資料の展示も行っています。天井には展示用の照明を備え、壁面にはモニターや一部にピクチャーレールを設けています。30名程度の研修会などに適した空間で、必要に応じて机や椅子が利用できます。

会議室



ギャラリー

天井高3.75m、床面積77.44㎡のフラットな空間。絵画、写真などの作品展をはじめ、トークイベントなど、市民の文化活動の場として多目的に活用することができます。また、壁面にはピクチャーレールが設けられているほか、可動壁も備えており、用途に合わせて空間を仕切ることが可能です。



ミュージアム ショップ

対馬と博物館の魅力を伝え、モノとヒトを結ぶ場です。
当館の展覧会図録をはじめ、
収蔵資料やオリジナルデザインをモチーフにした
グッズを販売しています。
特別展に合わせたグッズなど、
時期によって新しいモノに出会えます。



エントランス テラス

博物館の正面入口に位置するエントランステラスでは、
当館のシンボルである「口」を象ったサインが皆さまをお迎えします。
このサインは、朝鮮外交を担った対馬藩の
「国書偽造」に使用した「偽造印」がモチーフになっています。
その先にある全面ガラスの入口は、博物館の中と外を結ぶ存在です。



図書 コーナー



ラウンジ





収蔵庫

貴重な文化財を後世に伝えるため、資料を長期間、最良の状態で保管することができる4つの収蔵庫を設けています。調湿性、断熱性、気密性を保持した外部環境の影響を受けにくい構造で、庫内環境を一定に保つための空調設備が備わっています。各収蔵庫の温湿度を資料にあわせて設定することができ、各資料に適した収蔵場所で保管することができます。これらの収蔵庫を中心とする収蔵エリアは、前室2・3、収蔵庫1～4で構成され、耐火性、防盜性の高い専用の扉を備えています。また、収蔵庫を虫菌害から守り、安全な環境で資料を保管するために、資料の燻蒸を行う燻蒸庫、そして、一時的に資料を保管することのできる一次保管庫及び前室1があります。

収蔵庫2



収蔵庫3



一時保管庫



トラックヤード



保存修復室



事務室

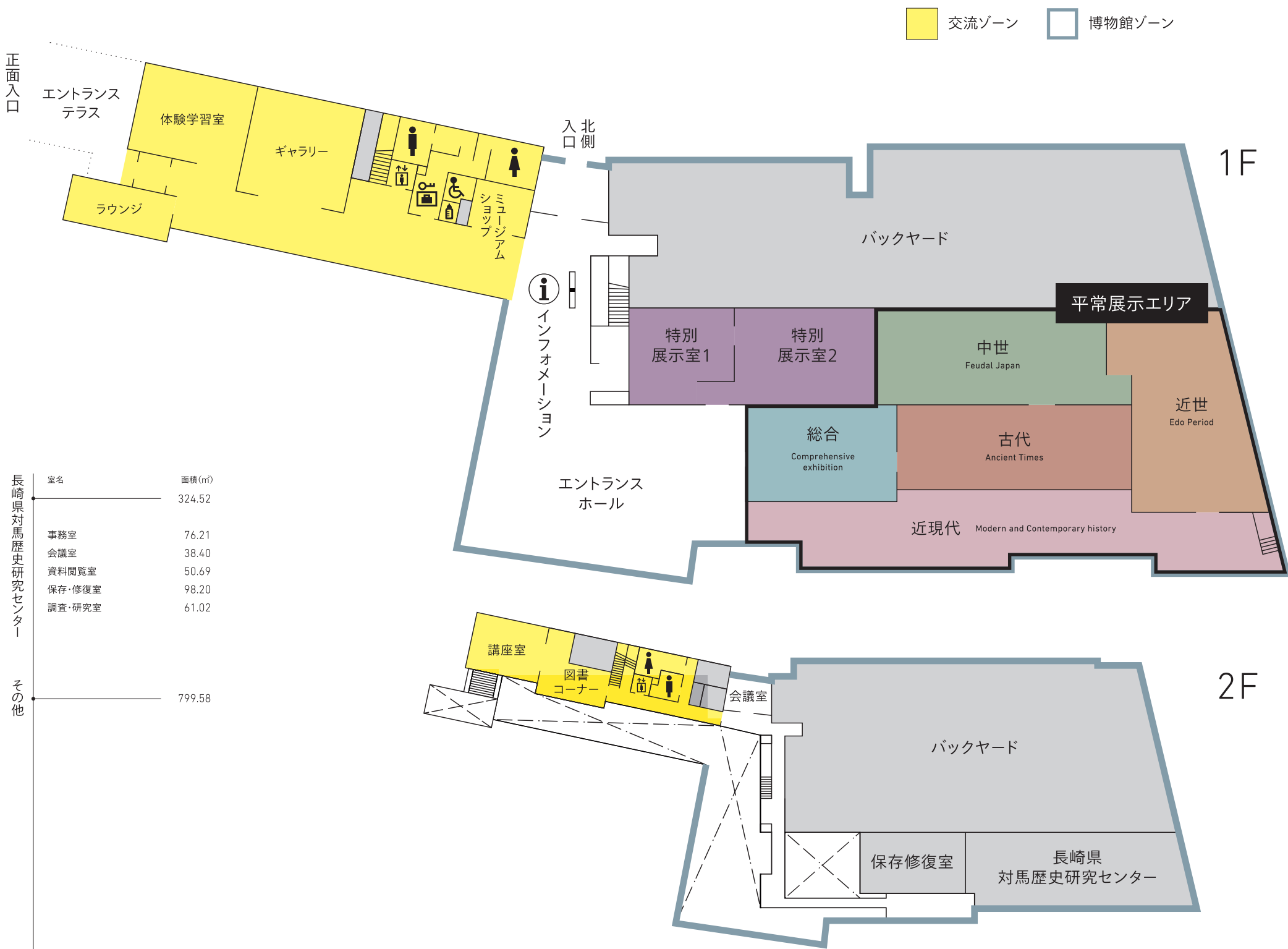
Floor Map

フロアマップ

建物名称 対馬博物館
所在地 〒817-0021 長崎県対馬市厳原町今屋敷668番地2
TEL 0920-53-5100
FAX 0920-53-5111
E-mail museum@city-tsushima.jp
開館日 令和4年(2022)4月30日
敷地面積 6,280㎡
延床面積 4,936㎡
規模 地上2階(一部3階)
構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
設計 石本建築事務所・トータルメディア共同企業体

各室面積

博物館ゾーン	室名	面積(㎡)	交流ゾーン	室名	面積(㎡)	長崎県対馬歴史研究センター その他	室名	面積(㎡)
		2,973.16			838.39			324.52
	平常展示室(近現代展示場舎)	753.61		エントランステラス	73.87		事務室	76.21
	特別展示室	157.99		メインエントランス	139.40		会議室	38.40
	エントランスホール	427.38		風除室3	13.12		資料閲覧室	50.69
	展示準備室	49.68		体験学習室	64.68		保存・修復室	98.20
	準備室	40.00		ギャラリー	77.44		調査・研究室	61.02
	事務室	80.71		倉庫4	7.44			
	清掃室	3.20		ロッカーコーナー	15.81			
	警備室	5.64		トイレ	38.10			
	倉庫1	5.55		多機能トイレ	4.95			
	給湯コーナー	8.39		授乳室	2.52			
	トイレ	3.84		ミュージアムショップ	19.80			
	バックヤード1、2	9.21		ラウンジ	32.39			
	荷解き室・トラックヤード	116.65		EV2	4.87			
	燻蒸室	20.41		階段3	14.03			
	一時保管庫(前室1含)	58.94		講座室	65.81			
	会議室	27.20		図書コーナー	51.57			
	廊下4	36.17		機械室4	21.42			
	前室2	31.37		廊下9	26.98			
	前室3	33.19		廊下10	7.83			
	収蔵庫1	516.78		給湯	3.99			
	収蔵庫2	332.84		トイレ	30.38			
	収蔵庫3	235.82		講師控室	8.37			
	収蔵庫4	18.59		スタッフルーム	12.20			
				EV2	4.87			
				階段3	15.75			
				倉庫5	55.31			
				屋上1	9.12			
				階段3	16.37			
				合計	4,935.65			



Visitor Information

利用案内

開館時間

午前**9時30分**～午後**5時**

入館は午後4時30分まで
駐車場の利用は午前9時00分～午後5時30分まで

休館日

毎週木曜日／年末年始

木曜日が祝日・振替休日の場合はその後の最初の平日
年末年始休館期間は12月28日～1月3日
※休館日は変更することもあります

観覧料

■平常展

区分	個人	団体(15人以上)	年間観覧券(1人1年間)
一般	550円	440円/人	1,650円
高校生・大学生	330円	260円/人	990円
小中学生	220円	170円/人	660円

※年間観覧券の有効期限は、購入日から1年間です。
また、対馬博物館年間観覧券で対馬朝鮮通信使歴史館も観覧できます。

■特別展

展覧会ごとに異なります。

■対馬朝鮮通信使歴史館

区分	個人	団体(15人以上)
一般・大学生	220円	170円/人
高校生・小中学生	110円	80円/人

■観覧料の減免

対馬博物館では、以下の方が入館される際は入館料を減免させていただきます。

対馬市内に居住する方

対馬博物館観覧料:110円減免
対馬朝鮮通信使歴史館観覧料:110円減免、学生(小・中・高)は全額減免

対馬市内の小中学校で利用する場合、
教員等に引率されて入館する児童・生徒及びその引率者の方
平常展観覧料:全額減免

心身に障がいをお持ちの方、またその介護者の方

対馬博物館・対馬朝鮮通信使歴史館観覧料:全額減免
※療育手帳や医療受給者証等、証明できるものをご提示ください。
※介護者の方は1名まで全額減免です。

施設使用料

■展示室

区分	単位	金額
特別展示室1	1日	4,510円
特別展示室2	1日	6,930円
特別展示室1・2	1日	11,440円

■学習室

区分	単位	金額
体験学習室	1時間	570円
講座室	1時間	570円
会議室	1時間	570円
ギャラリー	1時間	570円
エントランスホール	1時間	4,570円

設備使用料

区分		単位	金額
展示設備	可動陳列ケース	1台1日	330円
	演示具	1台1日	無料
音響・映像設備	マイクروفोन	1式1時間	440円
	音楽プレイヤー	1式1時間	440円
	プロジェクター	1式1時間	440円
	プロジェクタースクリーン	1式1時間	440円

特別利用料

区分	金額	備考
撮影	1,100円	1個・1枚につき
複写	330円	1枚につき
複製	2,200円	1個につき
フィルムからの複写	110円	1カットにつき
電子データの複写	110円	1データにつき

Access

アクセス



市外からのアクセス

空路をご利用の場合

福岡空港から | 1日5往復



長崎空港から | 1日4～5往復

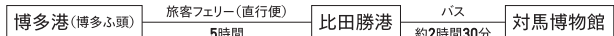


海路をご利用の場合

博多港から | 九州郵船 | 旅客フェリー・杵岐経由 | 1日2往復



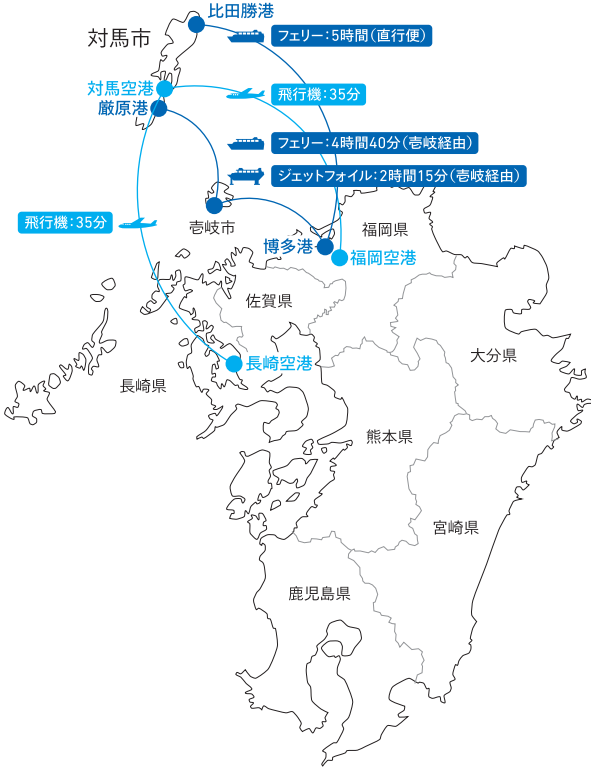
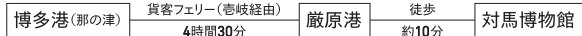
博多港から | 九州郵船 | 旅客フェリー・直行便 | 1日1往復

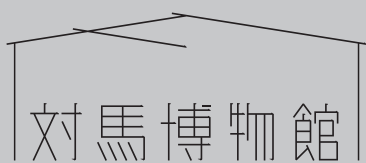


博多港から | 九州郵船 | 高速船(ジェットfoil)・杵岐経由 | 1日2往復



博多港から | 杵岐・対馬フェリー | 貨客フェリー・杵岐経由 | 1日1往復





TSUSHIMA MUSEUM

住 所：長崎県対馬市厳原町今屋敷668-2

T E L：0920-53-5100

F A X：0920-53-5111

E-mail：museum@city-tsushima.jp

U R L：https://tsushimamuseum.jp/

